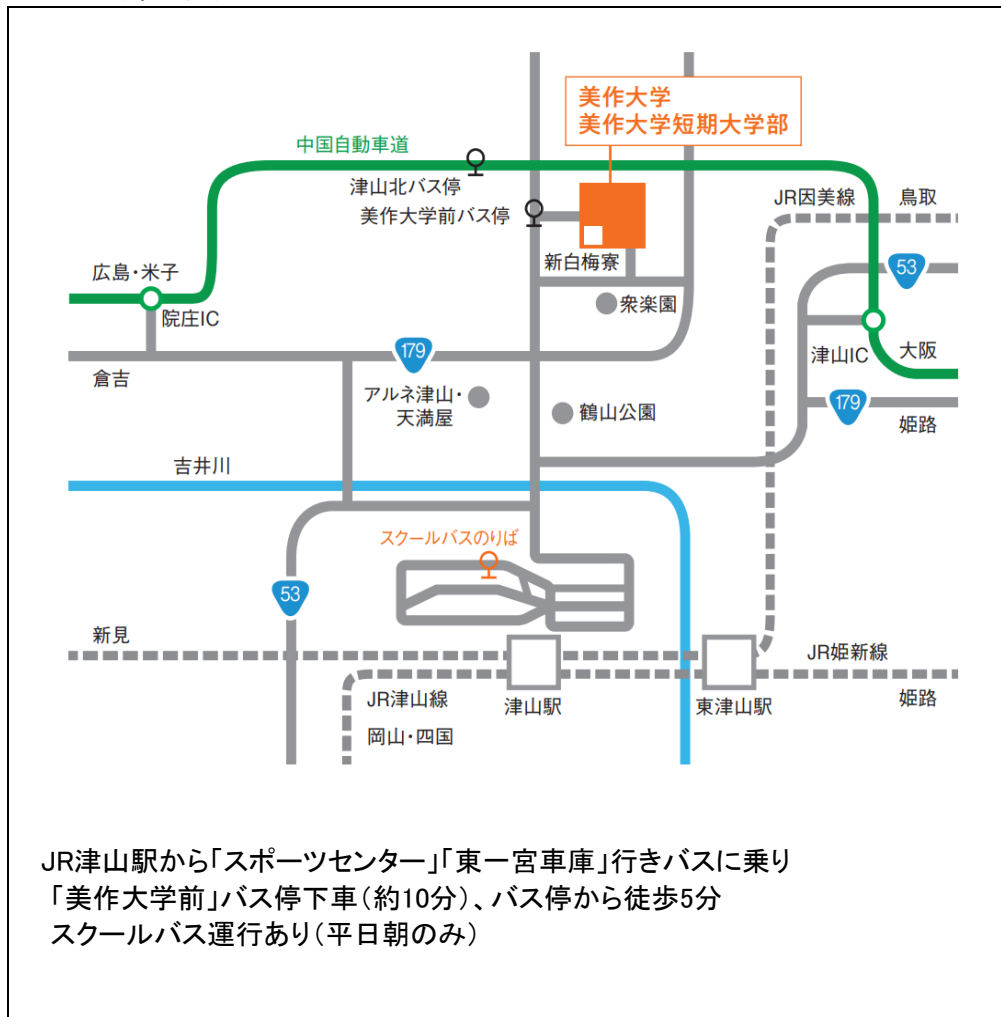


## (16) 美作大学

### ① 開講期間・試験期間・授業時間

開講期間	前期	2024年4月9日	～	2024年7月29日
	後期	2024年9月25日	～	2025年1月29日
試験期間	前期	2024年8月1日	～	2024年8月8日
	後期	2025年2月3日	～	2025年2月10日
授業時間	1限	8:40	～	10:10
	2限	10:20	～	11:50
	3限	12:40	～	14:10
	4限	14:20	～	15:50
	5限	16:00	～	17:30

### ② アクセス(案内図)



③ 担当窓口

教務課	
所在地	岡山県津山市北園町 50
電話	0868-22-7310 (教務課直通)

④ 開講大学から単位互換履修生への連絡事項

・ 履修申込期限

前期 4月5日(金)  
後期 9月20日(金)  
※所属大学によって提出期間が別に定められている場合はその指示に従ってください

・ 履修手続

所属大学の窓口にて上記の期間内に単位互換履修願(写真添付)を提出してください

・ 施設利用

1. 美作大学在学の学生と同じ扱いとします
2. 以下の印刷物等を配付します
  - ①履修要項 (教務課)
  - ②シラバス(該当科目) (教務課)
  - ③授業時間割表 (教務課)
  - ④行事予定表 (教務課)
  - ⑤学生証 (総務課)
  - ⑥キャンパスガイド (学生課)
  - ⑦駐車許可証(該当者のみ) (総務課)
  - ⑧図書館利用案内 (図書館)

・ 特記事項

--

⑤ 各科目のシラバス

大学ホームページ シラバス掲載URL

<https://mimasaka.cloud-syllabus.com/>

・遠隔授業科目

オンライン授業				16101
韓国語 I			朴 貞淑	
Korean I				
履修年次 1～4	1単位	前期	金曜 3コマ	
<p><b>【授業の目標】</b>            アンニョンハセヨ！ 基礎から学ぶ韓国語である。韓国語は、語順及び語彙が日本語と最も近い言語であり、文字と発音さえしっかり身につければ、楽しく話せる外国語である。本授業では、「聞く・話す・読む・書く」に関する基礎的な能力を養成することを目指す。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>            本授業では、韓国語の文字・発音・文法などの基礎を理解し、基本表現を身に付け、簡単なコミュニケーションができる能力を学ぶ。ビデオ等の視聴覚教材を用いて、韓国の文化や社会への理解を深める。オンライン授業と対面授業を併用したハイブリッド授業である。</p> <p><b>【授業内容】</b>            (1)オリエンテーション 「韓国語 I」授業におけるガイダンス            (2)基本母音字 ハングルの構成            (3)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション            (4)基本子音字 ハングルの構成、ハングル表            (5)合成母音字 母音と子音の構成、合成母音字の組み合わせ            (6)パッチム 初音・中音・終声、発音のルール、発音の変化            (7)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション            (8)あいさつ、自己紹介 挨拶、自己紹介の表現            (9)趣味は何ですか？ 「何」を表す疑問詞            (10)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション            (11)訪問 場所・位置・方向を表す指示詞            (12)空港で 固有数詞・時刻・時間の表現            (13)基本形・丁寧形・会話形 基本形・丁寧形・会話形の活用            (14)平叙文・肯定文と否定文・疑問文 平叙文・肯定文と否定文・疑問文の活用            (15)まとめ 1 課～8 課まで前期のまとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>            『実践韓国語』改訂 2 版、朴貞淑著、ふくろう出版</p>				
<p><b>【参考図書】</b>            『NHK ハングル講座』(NHK 出版)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            レポート課題(70%)、学習態度(30%)</p>				

・遠隔授業科目

オンライン授業				16102
韓国語Ⅱ			朴 貞淑	
Korean Ⅱ				
履修年次 1～4	1単位	後期	金曜 3コマ	
<p><b>【授業の目標】</b>          本授業では、「韓国語Ⅰ」に引き続き、文字と発音に重点を置きながら、使用頻度の高い語彙また、基本的な文法や実践的な会話の練習を行い、コミュニケーション能力を高める。また、ビデオ等の視聴覚教材を用いて、韓国の文化や社会の理解を深めることで、より効果的な学習を目指す。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>          本授業では、韓国語の文字・発音・文法などを理解し、基本表現を身に付け、コミュニケーションができる能力を学ぶ。視聴覚教材を用いて、韓国の文化の理解を深めることで、より効果的な学習を目指す。オンライン授業と対面授業を併用したハイブリッド授業である。</p> <p><b>【授業内容】</b>          (1)オリエンテーション 「韓国語Ⅱ」授業におけるガイダンス、前期内容の復習          (2)レストランで 会話、尊敬語の表現          (3)意志・推測・依頼 意志・推測・依頼の表現          (4)地下鉄で 希望・願望の表現          (5)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション          (6)何月何日ですか？ 漢数詞、数詞、年・月・日の表現          (7)今日は何曜日ですか？ 否定形、曜日の表現          (8)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション          (9)家族 家族・親族の名称          (10)ソウル旅行 現在進行形、誘い・推量の表現          (11)お正月 過去形、お正月の風習紹介          (12)書店で 助数詞、通貨の表現          (13)文化学習 異文化の理解、コミュニケーション          (14)規則活用、不規則活用 規則活用、不規則活用、事例表現          (15)まとめ 9課～16課まで後期のまとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>          『実践韓国語』改訂2版、朴貞淑著、ふくろう出版</p>				
<p><b>【参考図書】</b>          『NHK ハングル講座』(NHK 出版)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          レポート課題(70%)、学習態度(30%)</p>				

・対面授業科目

対面授業				16001
情報のユニバーサルデザイン論			関根 千佳	
Theory of Universal Design for Information				
履修年次 2～4	2単位	前期	集中	5,6月の土曜日・日曜日
<p><b>【授業の目標】</b>  この授業では、学生が世界最高齢国家の日本で、福祉職を始めとする全ての職種で必要不可欠な考え方であるユニバーサルデザイン（誰もが使いやすいまちやもの、情報、サービスの作り方と選び方）と、高齢社会を知るジェロントロジー（高齢学）の基礎について学ぶ。この概念について説明し、自分の仕事に活かせるようになることを目標とする。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>  基本的に講義形式であるが、障害者の社会参加や高齢社会に関する多くの事例を映像などで見て、課題や解決策をグループで話し合ったり、その結果を発表するといったアクティブ・ラーニング形式での講義となる。欧米を始め各国の障害者支援技術やユニバーサルデザインにおける現場を知り、日本国内の企業や行政機関などの優れた取り組みを知り、障害や加齢を自分事として捉えることや、世の中を少しでも明るい方へ変えていく方法について考える。  ただ座って講義を聴くだけでなく、授業内でのグループディスカッションや発表、フィールドワークなども多用する。リアルの講義を基本とするが、状況によっては、ハイブリッドで行う可能性もある。</p> <p><b>【授業内容】</b>  (1)自己紹介とアイスブレイク「私の考えるユニバーサルデザイン」  (2)ユニバーサルデザインの考え方はなぜ必要か  (3)まちのユニバーサルデザイン  (4)もののユニバーサルデザイン  (5)サービスやスポーツのユニバーサルデザイン  (6)情報やICTのユニバーサルデザイン  (7)テレワークとワークライフバランス  (8)カッコいい社会起業家を探す  (9)ジェロントロジーって何？  (10)アクティブシニアのライフスタイル  (11)高齢者の社会参加、就労、学び  (12)ヤングケアラーの問題をどう考える？  (13)高齢者と社会のコミュニケーション  (14)よく生きて、よく死ぬための死生学入門  (15)人生を完成させるためのデザイン</p> <p><b>【テキスト】</b>  『ユニバーサルデザインのちから』関根千佳著 生産性出版 2010年  『東大が作った高齢社会の教科書』東京大学出版会 2017年</p> <p><b>【参考図書】</b>  『情報社会のユニバーサルデザイン』放送大学テキスト 2019年</p> <p><b>【成績評価の方法】</b>  出席点 40% 授業中の議論への参加と発表 30% 最終レポート 30%</p>				

・対面授業科目

対面授業				16002
災害を知る			オムニバス	
Disaster Theory				
履修年次 1～4	2単位	前期	集中	8月下旬～9月上旬
<p><b>【授業の目標】</b>            本授業では、近年多発している自然災害のしくみと、災害に関わる情報を理解でき、現場で活躍できる防災士として必要な能力を養うことをめざす。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>            授業はオムニバス講義形式で行う。最初に近年発生した自然災害と防災士の役割を概説した後、教科書に沿って防災士に必要な知識を具体的に説明する。各講義終了時に質問を受け付け、最終回で回答する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b>            (1)ガイダンス            (2)地震・津波による災害(Ⅰ)            (3)地震・津波による災害(Ⅱ)            (4)地震・津波による災害(Ⅲ)            (5)火山災害            (6)震災火災・住宅火災            (7)気象災害・風水害・土砂災害            (8)災害関連情報と予報・警報            (9)被害想定・ハザードマップと避難情報            (10)災害情報の活用と発信            (11)災害医療とこころのケア            (12)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅰ)            (13)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅱ)            (14)企業・団体の事業継続            (15)まとめ</p>				
<p><b>【テキスト】</b>            防災士教本(日本防災士機構)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>            提出課題(60%)、配布課題の取り組み(40%)</p>				

・対面授業科目

対面授業				16003
災害に備える			オムニバス	
Disaster Prevention Theory				
履修年次 1～4	2単位	前期	集中	8月下旬～9月上旬
<p><b>【授業の目標】</b>          本授業では、災害発生後の行政の対応や、避難所設置、ボランティア活動など、発生後の復旧、復興の流れを理解し、現場で活躍できる防災士として必要な能力を養うことをめざす。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b>          授業はオムニバス講義形式で行う。地域の防災活動、減災や危機管理の概念を具体的事例を取り上げながら説明する。防災訓練では、グループワークによる実技演習を行う。この授業では、実際に防災や災害支援等に関わっている専門職等も担当し、現場理解を促す事例を紹介する。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)ライフライン・交通インフラの確保(Ⅰ)</li> <li>(2)ライフライン・更衣通インフラの確保(Ⅱ)</li> <li>(3)災害と保険、都市防災</li> <li>(4)防災士に期待される活動</li> <li>(5)耐震診断と補強</li> <li>(6)地震・津波の備え</li> <li>(7)風水害・土砂災害等への備え</li> <li>(8)避難所の設置と運営協力</li> <li>(9)地域防災と多様性への配慮</li> <li>(10)災害ボランティア活動</li> <li>(11)災害ボランティア活動</li> <li>(12)防災訓練① 実技訓練</li> <li>(13)防災訓練② 図上演習</li> <li>(14)専門職と防災活動</li> <li>(15)企業・団体の事業継続</li> </ol>				
<p><b>【テキスト】</b>          防災士教本(日本防災士機構)</p>				
<p><b>【参考図書】</b></p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b>          授業で指示された課題の実施状況により単位を認定する</p>				

・対面授業科目

対面授業				16004
地球環境論			下池 洋一	
Global Environment Theory				
履修年次 1～4	2単位	後期	火曜 5コマ	
<p><b>【授業の到達目標】</b> 地球環境諸問題の科学的メカニズムを理解し、一般市民に対して分かりやすく説明できる。問題を解決し、持続可能な社会を目指すには、国際協力と市民レベルでの自覚と行動が必要であることが理解できる。</p> <p><b>【授業の内容及び方法】</b> はじめに地球の誕生と生命の起源について概説し、後半で、われわれが現在直面している地球環境諸問題の発生原因、メカニズム、対策について項目ごとに具体的に解説する。外部講師の講義では、グループ討論を予定している。</p>				
<p><b>【授業内容】</b></p> <p>(1)地球環境総論：地球環境問題の概略  (2)地球環境の歴史：地球の誕生と生命の進化  (3)大気の汚染：汚染物質の発生源と対策、PM2.5の越境汚染  (4)地球温暖化①：温室効果ガスと温暖化メカニズム  (5)地球温暖化②：温暖化対策と将来の予測、京都議定書からパリ協定へ  (6)酸性雨：酸性雨の発生機構、被害状況と対策  (7)オゾン層の破壊①：オゾンホールが発見とその発生メカニズム  (8)オゾン層の破壊②：オゾン層保護と対策  (9)水質汚染：汚染要因と対策、赤潮と富栄養化  (10)土壌汚染：汚染要因と対策、最近の発生事例  (11)環境保全に向けた活動：リスク評価と環境教育  (12)廃棄物とリサイクル：廃棄物の定義と処理方法、リサイクルの種類  (13)有害化学物質による汚染：有害化学物質の特徴と汚染の現状  (14)エネルギー資源と環境問題①：世界のエネルギー消費の現状、国、地域の特徴  (15)エネルギー資源と環境問題②：再生可能エネルギーの利点と問題点</p>				
<p><b>【テキスト】</b> 適宜プリントを配布します</p>				
<p><b>【参考図書】</b> 『環境科学入門』(化学同人)、『私たちと環境』(東京教学社)</p>				
<p><b>【成績評価の方法】</b> 試験(80%)、提出課題(20%)</p>				



大学コンソーシアム岡山 単位互換履修科目履修願

所属大学の 受付番号	
受入大学の 受付番号	

\* 学生は太枠内のみ記入

美作大学長 殿

提出日	年	月	日
ふりがな			
氏名			印



この度、貴学において単位互換履修生として下記の科目を履修したいので、許可をお願いいたします。

所属大学等					
学部・学科・学年	学部			学科	年
学生番号		性別	生年 月日	西暦 年	
		男・女		昭和・平成	年
現住所	〒 -  Tel ( ) -				

\* 履修受付締切日:前期:4月5日(金)まで 後期:9月20日(金)まで

\* 区分(教養/専門):開講大学の区分を示しています。受講生の所属大学における区分については、申込みの際に所属大学で確認してください。

No	授業科目	区分	担当教員	単位	開講期	配当学年	備考	曜日・時限	履修希望	評価
<b>遠隔授業科目</b>										
16101	韓国語Ⅰ	教養	朴 貞淑	1	前期	1~4	オンライン授業 定員 20名	金 12:40~14:10	<input type="checkbox"/>	
16102	韓国語Ⅱ	教養	朴 貞淑	1	後期	1~4	オンライン授業 定員 20名	金 12:40~14:10	<input type="checkbox"/>	
<b>対面授業科目</b>										
16001	情報のユニバーサルデザイン論	専門	関根 千佳	2	前期集中	2~4	定員 20名	5,6月の 土曜日・日曜日	<input type="checkbox"/>	
16002	災害を知る	教養	オムニバス	2	前期集中	1~4	定員 20名	8月下旬~ 9月上旬	<input type="checkbox"/>	
16003	災害に備える	教養	オムニバス	2	前期集中	1~4	定員 20名	8月下旬~ 9月上旬	<input type="checkbox"/>	
16004	地球環境論	教養	下池 洋一	2	後期	1~4	定員 20名	火 16:00~17:30	<input type="checkbox"/>	

写真提出枚数 (カラー, 4 cm × 3 cm, 裏面に大学名・氏名を記入する)	身分証明書用	学生原簿用	計
	1 枚	1 枚	2 枚